

令和元年度第1回狭山市スポーツ推進審議会会議録

- 開催日時 令和元年6月25日(火)
午後7時00分から午後8時45分まで
- 開催場所 狭山市役所5階教育委員会室
- 出席者 伴好彦委員、渡邊学委員、新井勝委員、新井忠洋委員、星恒夫委員、
山崎康雄委員、小澤まゆみ委員、伊藤由美子委員、村川祐美子委員
- 欠席者 八重樫節子委員
- 事務局 向野教育長、滝嶋生涯学習部長、五十嵐スポーツ振興課長、高野主幹、
藤本主査
- 傍聴者 なし
- 議 題 狭山市スポーツ推進計画事業計画 平成30年度事業実績報告について
狭山市スポーツ推進計画事業計画に基づいて行った平成30年度の事業について、実績報告書をもとに説明をした。
- 質 疑
- 委 員 事業実績について、平成29年度と平成30年度を対比しており、同様の報告内容が多く見られるが、そのことについてどう考えるか。
- 事務局 平成28年度に策定したスポーツ推進計画に掲げた施策に基づいて、スポーツ活動を実施しており、関係課において一年間の実績を掲載したものである。
- 委 員 サピオ稲荷山が廃止すると耳にしたが、そういった理由からサピオ稲荷山の水泳教室などの実績が掲載されていないのだろうか。
また、実施しているスポーツ教室について、情報提供の仕方を教えてほしい。
- 事務局 サピオ稲荷山は、スポーツ施設とは異なり、健康増進施設の位置づけであるため、実績報告の対象となっていないものである。
また、情報の周知の方法としては、広報紙・ホームページに掲載、ちらしを全戸回覧・施設への掲示・学校への配布等を行っている。今後も、多くの方に周知できるよう努めていきたい。
- 部 長 補足になるが、本市では、高度経済成長期にインフラの整備や多くの公共施設の整備をしており、現在、老朽化が進み、施設の改修・補修が必要とされている。こうした中、国を挙げて公共施設を見直す方向性が示されている。本市では、将来を見据えて、公共施設を維持するために必要な経費を試算した「公共施設等総合管理計画」を策定した。人口減少傾向にある中では、全ての施設を維持することは難しいとの結論が出ている。サピオ稲荷山も、老朽化が進み、このまま継続することが難しいことから、計画の中では、施設のあり方を見直す方向が示され

ている。しかし、多くの方にご利用いただいていることを踏まえて、担当部署で、施設を存続するための手法を検討しているところである。

委員 スポーツ推進計画の数値目標である「週1回以上スポーツを実施する成人の割合を50%以上とする」ことについて、現状の数値を教えてください。

事務局 平成26年度は39.3%であったが、平成30年度に東京家政大学と共催で行ったアンケート調査では、上昇していた。(45.5%、6.2%上昇)

委員 教室・行事の参加人数の実績が示されているが、それぞれの教室の目的に向けて努力していることは何か。

事務局 全ての教室で、アンケートを実施し、開催時期や内容などの項目に加え、自由記述により今後実施したい教室名などを記述いただいている。今年度は、市民のニーズが多かった、卓球・バドミントン教室を5月に行い、多くの方に参加いただいた。

また、市民総合体育館や狭山台体育館の自主事業や公民館事業等と内容が重複しないよう、関係課と連携を図りながら、事業を進めていきたいと考えている。

委員 実績報告書の目標値について、設定の根拠を伺いたい。

事務局 スポーツ推進計画の施策の数値目標とスポーツ教室・行事の参加人数の実績を踏まえて、5年間の目標値として設定しているものである。

会長 目標値に届いていない項目については、分析が必要であるが、分析されているか。

事務局 平成30年度の教室が全て定員に達していれば、教室・行事の参加人数は2,112人の結果となったものである。しかし、定員に満たない教室や、定員に達していても、複数回を全て出席できない方もいたことから、1,651人の数値となったものである。今年度は、市民のニーズを取り入れて新たな教室に取り組んでいる。

会長 広報紙で各教室の参加人数を一覧にして載せると参加人数が増えるかもしれない。

委員 剣道連盟が関わっている初心者剣道教室は、参加人数がなかなか増えない状況である。情報提供の仕方について、良いアイデアがないだろうか。

委員 小学校の児童に配布することは可能なのか。

委員 小学校は、配布物が大変多いので、学校内にチラシを置くことは可能である。

委員 剣道は防具などが必要であると思うが、気軽に参加できる方法を考えてみてはどうか。

委員 初心者剣道教室では、防具などは必要がなく、誰もが参加できる教室となっている。小・中学生から参加できるので、ぜひとも裾野を広げたいと思っている。

会長 裾野を広げるための方法を話し合う場が、このスポーツ推進審議会の会議であると思うので、今後もアイデアがあったらお願いしたい。

- 委員 教室を開催する場所が限られているが、市内全域で実施できると良いのでは。例えば、剣道教室であれば、市内の道場を1年ごとに利用するなど、工夫が必要である。
- 事務局 参考にさせていただきたい。
- 委員 各地区で実施している体育祭に補助金を交付しているが、雨天中止の場合、補助金の返還が必要なのか。また、返還が必要でない場合は、翌年度の交付はないのか。
- 事務局 雨天中止であっても、補助金実績報告書と決算書を提出していただき、消耗品や賞品の購入をはじめとする事前準備等の費用を執行していることが確認できれば、補助金の返還を求めず、翌年度は補助金を通常どおり交付している。平成30年度は、3地区が雨天中止であったが、1地区に補助金未執行額が生じたため、返還手続きを行ったものである。
- 委員 小・中学校の新体力テスト結果について、県平均値を上回った種目数が昨年度より、小・中学校とも減少しているが、総合得点は小・中学校とも昨年度より上回っているのはなぜか。
- 委員 運動能力テストの結果は、埼玉県は全国で上位を示している。総合得点が伸びているにもかかわらず、埼玉県の平均値が高いので、このような結果となったものである。
- 委員 中学校の部活動指導員は昨年度と同様28人配置しているが、平成29年度から平成30年度に引き続いてお願いしているものなのか。また、28人の中には、スポーツボランティアが登録しているか。
日本スポーツ協会において、スポーツ指導者マッチング制度が開始しているが、28人の中に入っているか。
スポーツボランティアについて、講習・指導は行っているか。
- 事務局 部活動指導員については、平成29年度と同じであると認識している。また、スポーツボランティアは、指導員としての登録はしていない。
市では、教育指導課が部活動指導員について制度化しており、外部指導員だけで学校外の大会に引率することができるなど、国のスポーツ指導者マッチング制度を活用できる環境は整っている。
スポーツボランティアの講習などは行っていないが、ボランティアの登録時にヒアリングをするとともに、ボランティアの要請があった時には、登録者全員に意向を確認している。
- 委員 37人のスポーツボランティアの登録の種目は何か。
- 事務局 イベントの運営補助としての登録が多いが、種目としては、野球、硬式テニス、バドミントンの順となっている。
- 委員 スポーツボランティアは有償か無償か。

事務局 無償である。

その他 (事務局より)

・スポーツ振興計画について

令和3年度の新たな計画の策定に向けて、本年度は、市民のスポーツに対する意識調査を実施する。アンケートの調査項目等について、9月以降に審議会を開催し、審議をいただく予定である旨を報告した。

・市民総合体育館アリーナ床改修工事について

当初の予定どおり、本年3月末に工事が完了し、4月から使用を再開した。床のリニューアルに合わせ、バレーボールやバドミントンの支柱を軽量のものに新調した。また、2階のランニングコースのうち、経年劣化が激しい南北の直線コースを修繕した旨を報告した。

・武道館の整備について

昨年度、建設場所を市営住宅上諏訪団地跡地に決定し、現在、実施設計を行っている。今後は、本年度末までに詳細設計を完了し、令和2年度から令和3年度にかけて工事を行い、令和4年度の供用開始に向けて所要の事務を進めていく旨を報告した。

・公共施設の禁煙化について

健康増進法の一部改正に伴い、望まない受動喫煙の防止を図るため、本年7月1日から第一種施設に該当する行政機関、学校、児童福祉施設、病院などは、受動喫煙を防止するための必要な措置が取られた喫煙場所を除き、敷地内禁煙となる。市民総合体育館は5月1日から先行して灰皿の撤去を行っており、地域スポーツ施設については、7月1日から敷地内禁煙となる旨を報告した。

・第90回都市対抗野球大会について

今年も、Honda硬式野球部が狭山市代表として3年連続33回目の本戦出場を決めた。市として、庁舎内、庁舎壁面及び狭山市駅東西自由通路に横断幕を設置するとともに、新狭山駅の北口及び南口ロータリーに立て看板を設置した。また、狭山市に事業所を置く、鷺宮製作所も2年連続14回目の本大会出場を決めたことについて報告した。

会議資料

- ・令和元年度第1回狭山市スポーツ推進審議会 次第
- ・狭山市スポーツ推進計画事業計画 平成30年度事業実績報告
- ・改正健康増進法の施行期日について
- ・第90回都市対抗野球トーナメント表